

道徳科学習指導案

主題名「きまりを生むもの」〔学指要領：C 規則の尊重〕

令和5年10月 第3学年 指導者 阿久澤 滯

I 主題設定の理由

1 価値観

本主題は、第3学年及び4学年内容C－(12)規則の尊重「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」に基づくものである。生活をする上で必要な約束や法、きまりの意義を理解し、それらを守るとともに、自他の権利を大切にし、義務を果たすことに関する内容項目である。

児童が成長することは、同時に所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくことでもある。そのためにも、約束や法、きまりを進んで守ることができるようにすることが必要である。中学年になると、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちの決めたことを大切にしようとする傾向がある。一方で、社会のきまりや約束、公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。身近な社会集団における人間関係を形成する上でも、自分の思いのままに行動するのではなく、集団の向上のために守らなければならない約束やきまりがあることを十分に考え、進んできまりを守ろうとする道徳的心情を育てることが大切である。

2 児童観

本学級は単学級学年のため、男女の仲もよく、協力しながら生活することができる。明るく素直な児童が多く、自分の好きなことに対しては一生懸命になって取り組める。一方で、関心がない事柄に対して自分の思いを表現することや、道徳的な問題を自分事として捉えることに課題が見られる。集団生活を送る中で、友達との約束や学校のきまりが大切であり、守るべきものだと分かっているにもかかわらず、自分中心で物事を考えてしまい、友達との約束や学校のきまりを守れない児童もいる。また、社会のきまりや公共物との関わりについて深く考えた経験も少ない。このことから、きまりについての道徳的な問題を自分事として捉え、自分だけでなく相手や周りの立場になって考え、きまりを守ることの大切さや意義について気付かせ、きまりを守ることでよりよい生活が成り立つことを理解させたい。

3 教材観 教材名「心の優先席」(出典：「ゆたかな心 3年」光村書院)

日曜日の電車の中、ある駅に停車すると、一人のお客さんが乗車してきた。少し腰のまがった八十歳くらいのおばあさんだった。周りの乗客は、おばあさんが手すりにつかまって立っているのを見て、少しそわそわし始めた。主人公の近くには3人の小学生が「優先席にすわっている人がゆずるべき」「近くにすわっている人がすわるべき」「ゆずりたいと思う人がゆずるべき」とそれぞれ意見をを出して話していた。3人の会話を聞いていた主人公もどうしたらよいか考えこんでしまうというあらすじである。

本教材は、優先席について複数の意見を比較し、みんなが気持ちよく生活するきまりと、それを守ろうとすることのよさを考える教材である。そわそわした思いで過ごすバスの人たちの気持ちに共感させつつ、優先席に対する複数の考え方に対して、自分事として捉え考えることで、優先席に対する多様な考え方に気付くことができる教材である。きまりは誰の何を大切にすることかを考えさせることで、社会のきまりを大切にすることは、人々が安心して暮らしていきたいという心を大切にすることだと理解するのに適した教材である。

4 研究との関わり

本学級の児童は、自分の関心がない事柄に対し自分の思いを表現することや、道徳的な問題を自分事として捉えることに課題が見られる。そこで、本研究の導入場面では、きまりに対する児童の実態が把握できる事前アンケートや、きまりを守ることについての心情メーターの結果から、日常生活における

道徳的な問題を自分事として捉える時間を設定する。また、展開場面では、自分事として考えた問題について、主体的に話し合うことができるように、児童が話し合いたい相手を決めて交流していく。自分の考えと同じ人や違う人と交流を行ったり、ICT機器で立場や気持ちが視覚的に分かるような工夫をしたりして、意見交流が活発になるようにしていきたい。振り返りの場面では、事前に実施した心情メーターに再び取り組ませ、自身の心情の変化を見つめる時間を確保する。議論した内容について、これまでの自分を振り返り、これからの自分について考えることができる時間にすることで、自己の生き方について考えをもつことができる児童を育てていきたい。

II 本時の学習

- 1 **ねらい** 自分の考えや立場を明確にし、優先席について多面的・多角的に考える学習を通して、きまりを守ることの意義や意味を理解し、社会や公共のきまりを守ろうとする道徳的心情を育てる。

【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 主な発問（◎中心発問◇補助発問） 予想される児童の反応〔S〕	◎研究上の手立て ○指導上の留意点
<p>1 本時で扱う道徳的価値について、事前アンケートから問題意識をもつ。（導入5分）</p> <p>S：きまりを守る大切さは分かっている。</p> <p>S：約束やきまりを守れないときもある。</p> <p>S：守れなかった経験もある。</p> <p>＜くめあて＞きまりは何のためにあるのだろうか。</p>	<p>◎きまりが社会にたくさんあることや、守れない現状を知るために事前アンケートの結果を掲示する。 【★一覧表示】</p> <p>◎自分事として課題を把握し、問題意識をもつことができるように、きまりを守れる・守れない気持ちをデータ化した心情メーターの資料を見せる。 【★一覧表示】</p>
<p>2 教科書の教材文の範読を聞く。（5分）</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。（共有★）（展開①20分）</p> <p>◎あなたの考えは3人の中でだれに近いですか。</p> <p>S：優先席は優先する人のためにつくられているからゆずるべき。（意見①）</p> <p>S：優先席でなくても大変そうな人がいたら近くの人が席をゆずったほうがいい。（意見②）</p> <p>S：ゆずろうとしている人から席をゆずられたほうがおばあさんうれしいと思う。（意見③）</p> <p>◇どうして優先席というきまりがあるのだろうか。</p> <p>S：みんなが安心してバスに乗るため。</p> <p>S：おばあさんのように大変な人が安心してバスに乗れるようにするため。</p> <p>S：いろいろな人が安心できるようにするため。</p>	<p>○道徳的な問題に着目できるように、聞く視点を伝える。</p> <p>◎多様な考え方がることが視覚的にわかるように、1人1台端末のカラーテキスト機能を活用し、立場で色を分けて提出するよう促す。 【★一覧表示】</p> <p>◎主体的に話し合うことができるように、児童が話し合いたい相手を決めるように促す。</p> <p>◎多様な意見に触れ、考えを深めることができるように、同じ考えの人や違う考えの人など、話す相手を変えて交流を行うよう促す。（2人～4人編成）</p> <p>○教室内を行き来しながら交流するよう促す。</p> <p>〔座席を中央に向い合せ全体共有〕</p> <p>○児童の本音を引き出すために、揺さぶる発問や社会にかかわるきまりについて問い返す発問をする。</p>

<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。 (展開②5分)</p> <p>○きまりは何のためにあるのだろうか。 S：自分やみんなが安心して生活するためにある。 S：いろいろな人と楽しく過ごすためにある。 S：悪いことをしないためにある。</p>	<p>○社会や公共のきまりを守るよさを理解し、自分の考えを確かなものにするために、価値に迫る児童の考えを意図的に指名し、全体で意見を共有する。</p>
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。 (★共有) (終末10分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈振り返り〉 S：きまりはみんなが安心して暮らしているためにあるものだと分かった。 S：これからは身の回りがあるきまりを守っていききたいと思った。</p> </div>	<p>○自身の気持ちの変化について確認できるように、導入で扱った問題意識に関するきまりを守れる・守れない気持ちをデータ化した心情メーターを再度取り組ませる。 【★一覧表示】 ○これまでの自分を振り返り、これからの自分の生き方について考えることができるように、自己を見つめる時間を確保する。</p>

- ◆評価の視点
- ・ワークシート・発言の記述や交流から「約束や社会のきまりの意義を理解することについて多面的・多角的に考えている」姿を見取る。
 - ・ワークシート・発言の記述から「約束や社会のきまりの意義を理解することについて自分自身との関わりの中で考えている」姿を見取る。

2 板書計画

め きまりは何のためにあるのだろうか

P.32 心の優先席

◎いちばん近い考えはどれ？

きまりだから優先席にすわっている人がせきをゆずる。	場面絵① 優先席に座っている乗客	近くにすわっている人がせきをゆずる。	場面絵② おばあさんの近くに座っている乗客	ゆずりたいと思う人がせきをゆずる。	場面絵③ ゆずりたいと思う人がおばあさんに声を掛ける
---------------------------	---------------------	--------------------	--------------------------	-------------------	-------------------------------

↓

- ・電車の中の人がかまらから、きまりはあったほうがよい。

↓

- ・おばあさんが大変だから
- ・近くのほうが大変ではないから
- ・ゆうせん席が遠いから

↓

- ・健康な人が大変な人を助けてあげる。
- ・ゆずった人もよい気持ちになるから。

家のきまり 学校のきまり
バスケットのきまり

○どうして優先席があるのだろうか？

→ みんなが安心してのれるように